

龍谷の教育

No.175

2025.Summer



〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>



TEAM RYUKOKU

陸上部

県高校記録更新



未来から自分を見つめる

副校長 藤井 昭三



龍谷中学校・高等学校
副校長の藤井昭三です。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

去る4月には、多くの新入生が龍谷中学校・高等学校に入学してくれました。生徒たちがそれぞれ夢や希望を抱き、それに挑戦できること。そして、将来は社会に貢献できる人材へと成長してくれることを心から願っています。若者には無限の可能性があります。夢の実現のために、どこまでも突き進んでほしいと願っています。その実現に向けて、本校は全職員がチームとなつて生徒たちをサポートしてまいります。保護者の皆様をはじめ、地域や学校関係者の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最近、「バックキャスティング」という言葉をよく耳にします。バックキャスティングとは、まず目標とする「未来の姿」を具体的に描き、その未来を実現するために「今何をすべきか」を逆算して考える思考法です。現状の延長線上で未来を予測する「フォアキャスティング」とは対照的なアプローチと言えます。フォアキャスティングが「今から未来はどうなるか」を考えるのに対し、バックキャスティングは「こうありたい未来から、今何をすべきか」を考えます。変化の激しい現代において、現状維持ではなく、望ましい未来を自ら創造していくために有効な思考法として注目されています。

バックキャスティングでは、まず「こうなっていたい」という未来の目標（ビジョン）を設定し、そこから逆算して、その目標を達成するために「今何をすべ

きか」を考えます。

このアプローチは、中学生や高校生が将来の進路を決める際にも非常に有効です。漠然とした「大学に行きたい」という願望から、「将来〇〇になりたいから、〇〇学部のある大学に進学したい」といった具体的な目標設定を促すことができます。

生徒自身が未来を想像し、そこに至るまでのステップを考えることで、進路決定への主体性を高められます。また、最終目標が明確になることで、日々の学習や活動へのモチベーションを維持しやすくなります。さらに、目標達成のために必要な要素（学力、経験、資格など）を逆算的に考えることで、視野を広げることもつながります。

バックキャスティングを効果的に機能させるために、教師には、生徒たちの考えにじっくりと耳を傾けることが求められます。答えを与えるのではなく、生徒自身が答えを見つけられるようサポートしていく姿勢が求められます。必要に応じて、大学情報、職業情報、奨学金情報といった関連情報を提供することも重要です。

そして、最も大切なことは、生徒に決して諦めさせない姿勢をもたせることです。途中で困難に直面しても、私たちは生徒と一緒に解決策を考え、常に寄り添いながら、彼らの成長を支えてまいります。

本校は、浄土真宗の宗祖である親鸞聖人の「み教え」を建学の精神とし、校訓として「合掌」「感謝」「自律」「明朗」を掲げています。すべての人が平等に生かされている生命の尊さに目覚め、感謝の心を持つてお互いを敬愛し合う豊かな人格を育み、社会の進展に貢献する強く明るい生徒の育成に努めてまいります。

二〇二五年度が始まり三か月が経過しました。この三か月どのような一年になるのかな、いや、どのような一年にしていこうかなと考えながら生活しています。が、「諸行無常」（すべてのものは移り変わる）の中に生かされていることを実感させられる毎日であります。昨年九月に義父が往生し、この世での別れを悲しんでいましたが、一月には大学三年生の次女が「成人の集い（成人式）」を迎え、四月には長男が就職、その成長を喜んでいたところ、

今度は母の体調が悪化し、老い、その命を心配しなければならぬ状況が続いています。学校では、三月に卒業や退職での別れ、四月には入学や新任による出会いがあり、クラス替えなどで仲の良かった友達や先生と別れる瞬間に、これまでの日常が終わり、新しい環境が始まるという変化を実感することができま

同 朋

おり、自分の行動だけで過去があり、未来が創られるわけではありません。色々なことが複雑に絡み合い「見えない力」に働きかけられ、「見えない光」に照らされながら、今の生活があり、私が存在しています。この時期は新年度の疲れがたまりストレスを抱え込んでいる人も多いのではないかと思います。現在の置かれた状況は、自分の行いだけが原因ではないのですから、自分を責めたり、誰からも頼まれていない責任を負いすぎたりする必要はないと思います。どんなに頑張っても、中々自分の思い通りにはならないことが当たり前なのです。困難に直面したとしても、それに振り回されることなく柔軟に向き合い対応していけば、いつか必ず状況は変わっていきます。縁起や諸行無常というこの世界のありのままの真実に気づいたとき、自分ができることをやった後は、期待せずに待つしかない。「なるようにしかならない」として「おのずとなるべきようになる」ということなのかなと思います。

（宗教部 長田信一）



創立記念式典（宗祖降誕会）

5月21日は浄土真宗の宗祖である親鸞聖人のお生まれになった日であり、この日を宗祖降誕会と呼んでいます。また、親鸞聖人のご誕生無くしては本校の創立はないという視点から、創立記念日としています。今年は5月21日（水）に創立記念式典を執り行いました。

今回も昨年同様全校生徒が一堂に体育館に参集しました。司会進行、親鸞聖人のご生涯の紹介を放送部が担当しました。仏教青年部の協力のもと、阿彌陀様にお供えをする献灯献華献香や、お経にメロディをのせたお勤めである音楽法要を勤修しました。また、佐賀県教育委員会より松本英将さまにお越しいただき、「インターネットと人権」という演題でご講演いただきました。以下、生徒の感想です。

（中学生）

日頃からインターネットをたくさん使っていて、その中にはいろいろな犯罪への罠があるから気をつけたいと思ったり、色んな法律について学び、犯罪に巻き込まれないように気をつけてインターネットを使用したいと思った。親にスマホの所有権があるということ覚えておきたいと思った。

（高校生）

今までSNSの利用規約などを見ずに同意してアプリを使用していたけれど、今回の講話でしっかりと見なければ個人情報漏れる可能性があること知り、これからは初めから最後まで確認しようと思いました。また、講話で話された憲法や法律について聞いたことで、今まで親にSNSでの発信やコメントの送信をしてはいけないと言われてきた意味がわかったと思います。これからは、自分を守るため、親を安心させるためにも、安全にSNSを使用しようと思いました。

（文責 横曽根）



Ryukoku Interview 東堂 陽葵さん（関西学院大学文学部）

本校は、2028年に創立150周年を迎えます。この節目を迎えるにあたり、これまで築いてきた多くのご縁や思い出を振り返るため「龍谷の教育」では、卒業生にインタビューを行うことにしました。今回は、その第一弾として東堂 陽葵さん（2021年度卒）にお話を伺いました。

なぜ龍谷高校を選びましたか。

中学校から龍谷に通っていたというのがありますが、部活動も勉強もレベルの高い環境の下で文武両道を目指したかったからです。

学生時代の思い出を教えてください。

剣道部に所属していたため、学生時代の思い出は主に剣道のことばかりですが、その中でも思い出に残っているのは高校2年生の時に新人戦で優勝し、選抜大会に出場したことです。選抜大会では結果を残すことができず、全国大会で1勝することの難しさを痛感しました、しかし、この経験は私の人生の中で誇れる大きな財産の一つだと思っています。また、学校生活も先生方や友人に恵まれて、とても充実した日々を送っていたと感じます。

東堂さんは5月に教育実習に来られていましたが、実習を終えての感想はありますか。

初めは学生目線ではなく、教員目線で学校生活を送ることに戸惑いました。教科を問わずたくさんの先生方の授業を拝見させていただいたり、お話をさせていただいたりするなかで、先生方が生徒一人ひとりに寄り添い、向き合っている姿や、どう授業を行えば分かりやすいのか、日々試行錯誤しながら学び続けられている姿を間近で見て、「先生方はすごいな」と思いました。

在校生へメッセージをお願いします。

私は現在も大学で剣道を続けており、楽しい学生生活を送っていますが、よく中高生の頃を思い返しては「あの時頑張っていて良かった」、「龍谷に行っていて良かった」と感じています。

在校生の皆さんにお伝えしたいことは、「結果が報われようが報われまいが、努力した分は必ず成長に繋がる」ということです。結果が思うように出なくても、地道に努力をすれば誰かはきっとその努力を見てくれますし、認めてくれます。辛いことや苦しいことがこの先たくさんあると思いますが、「あの時頑張っていてよかったな」、「龍谷に来てよかったな」と思えるよう、学生生活を楽しみながら現在（いま）を精一杯頑張してほしいです。



各部の部長が大会の感想を述べてくれました。

男子バスケットボール部

私たちは高校総体ベスト4を目標に掲げ、日々の練習に取り組んできましたが、その目標は達成できず、ベスト8という結果になってしまいました。悔しさもありますが、このチームで最後まで戦えて良かったです。 堤 紀一（③総合・大和中）

女子バスケットボール部

試合には負けてしまったけれど、これまで練習してきた成果を発揮でき、全員が目標に向かって最後まで諦めずに戦うことができました。応援に来てくださった方々ありがとうございました。 永野間 玲音（③総合・大和中）

男子バレーボール部

今回の高校総体では私たち男子バレー部は惜しい結果となってしまい非常に悔しい思いをしましたが、最後まで笑顔で楽しむことができました。この経験を生かしこれからも生活していこうと思います。 井上 光星（③文理・佐大附属中）

女子バレーボール部

高校総体では残念な結果になってしまいました。私たちが目標にしていた「全員が笑顔で楽しくバレーをする」ということは達成できたので良かったです。 梅野 未羽（③文理・城東中）

バドミントン部

たくさんの方々のおかげで高校総体に出場することができました。部員それぞれが自分の持てる力を出して試合に臨めたと思います。自分たちを支えてくださった先生方、保護者の皆様、本当にありがとうございました。 江頭 博輝（③文理・川副中）

自転車競技部

最後の県大会ということだったので、今年はこれまで以上に気合いを入れて挑みました。個人種目で1位を取ることができなかったのが心残りですが、自分の力を出しきることができました。これまで支えてくださった皆さんに心から感謝しています。 後藤 結希（③総合・城東中）

陸上部

リレーで佐賀県高校記録を塗り替えることができ、思い出に残る最高の高校総体でした。次のステージを目指し競技力・人間力ともに成長していきます。 小林 翔（③文理・金泉中）

水泳部

高校総体では2人とも表彰台に上がることができ、九州高校総体の出場も決まりました。次は、九州高校総体に向けてより一層気合いを入れて頑張りたいと思います。 黒木 彩那（②特進・城西中）

硬式テニス部

高校総体ではあと一歩が足りず、とても悔しい思いをしました。けれども、全力でプレーをすることができたので良かったです。 多々良 悠人（③保育・城北中）





第63回佐賀県高等学校総合体育大会・第72回NHK杯佐賀県高等学校野球大会を終え、

ソフトテニス部

高校総体では最後まで全力でやりきることができました。個人戦ではどのペアもいつもの倍以上の力を発揮して戦うことができました。団体戦は強豪校と戦い、負けてしまいましたが、とても良い勝負になりました。最後まで諦めず戦えたので素晴らしい経験になりました。

小池 和正（③文理・城西中）

サッカー部

先月行われた高校総体での全校応援ありがとうございました。残念な結果になってしまいましたが、皆さんの応援がとてもパワーを与えてくれました。準優勝という結果を受け入れ、この夏でもう一つ強くなって冬の選手権に向かって行けるように全員で努力していきます。これからもサッカー部への応援よろしくお願いします。

伊賀 遥生（③総合・浜松湖東中）

野球部

私たち野球部はNHK杯に出場し、2回戦で敗退という悔しい思いをしました。この悔しさを7月5日に開幕する夏の選手権大会で晴らせるよう、全力で頑張ります。引き続き、たくさんの応援をどうぞよろしくお願いいたします。

西 琉杏（③総合・宇土鶴城中）

空手部

高校総体では反省点が多く残りましたが、九州大会・インターハイでは上位入賞を目指して、全力で挑みます。応援よろしくお願いします。

光吉 泰雅（③総合・昭栄中）

柔道部

団体戦は不甲斐ない結果に終わってしまいました。自分達の実力不足だったと思います。個人戦は100キロ級で九州大会への出場権を得ることができました。応援ありがとうございました。

森永 倫平（③総合・芦刈観瀾中）

弓道部

私たちの目標は総体優勝でしたが達成できませんでした。しかしこれまでの努力が無駄だったとは思いません。弓道で学んだことを忘れずに自分の進路を進んでいきます。

光武 壱真（③総合・金泉中）

剣道部（男子）

高校総体では、個人優勝・準優勝・団体戦2回戦敗退という結果で、各々課題が残る結果となりました。3年生は残り少ない大会なので、悔いの残らないように頑張っていきます。応援ありがとうございました。

平田 謙心（③理グロ・龍谷中）

剣道部（女子）

いつも応援ありがとうございます。女子団体3位という結果で終わってしまい、全国の切符を掴み取ることができませんでした。この悔しさを晴らし、玉竜旗では必ず優勝します。

川内丸 美緒（③理グロ・龍谷中）





龍谷 SPORTS & CULTURE

【剣道部】

令和7年度第59回佐賀県高等学校春季剣道大会(4月19日・吉野ヶ里町文化体育館)

女子団体 3位

川内丸美緒(③龍谷) 大曲 遥寧(③龍谷)
安達 心希(③三瀬) 石橋 杏愛(②龍谷)
實松久玲愛(②龍谷) 川内 凛夢(①神埼)
濱田 陽奈(①柳井)

男子個人

優勝 平田 謙心(③龍谷)
ベスト8 武末 紫道(③柳川大和)

女子個人

3位 川内丸美緒(③龍谷)
3位 石橋 杏愛(②龍谷)
ベスト8 實松久玲愛(②龍谷)

第63回佐賀県高等学校総合体育大会(5月30~31日・白石高等学校体育館)

女子団体 3位

川内丸美緒(③龍谷) 大曲 遥寧(③龍谷)
安達 心希(③三瀬) 石橋 杏愛(②龍谷)
實松久玲愛(②龍谷) 川内 凛夢(①神埼)
濱田 陽奈(①柳井)

男子個人(九州・全国大会出場)

優勝 平田 謙心(③龍谷)
2位 江頭 大聖(③北茂安)

女子個人

3位 石橋 杏愛(②龍谷) (九州大会出場)

【柔道部】

令和7年度高校総体佐賀県大会(5月30、31日・基山町総合体育館)

男子団体 ベスト4

森永 倫平(③芦刈) 北島 弘琉(③芦刈)
飯盛 裡恩(③昭栄) 堀 廣斗(②有田)
本村 勇斗(②小城) 枇杷木 健(①広島七尾)
藤井 蓮(①広島井口)

男子個人100kg級

準優勝 北島 弘琉(③芦刈) (九州大会出場)

男子個人90kg級

3位 藤井 蓮(①広島井口)

男子個人60kg級

3位 森永 倫平(③芦刈)

【空手道部】

令和7年度第63回佐賀県高等学校総合体育大会空手道競技(6月1日・SAGAブラザ小競技場)

男子団体組手 2位

光吉 泰雅(③昭栄) 小柳 僚雅(③武雄北)
山田 凱斗(②東原彦倉東部) 山崎 心人(①成瀬)

男子個人組手

2位 光吉 泰雅(③昭栄)

女子団体組手 優勝

宮崎 祥歩(③鳥栖) 古賀 万葉(②鍋島)
中西陽菜多(①浅口鴨方) 江下由来(①佐大附属)
吉村 心愛(①佐世保早岐)
佐々木七海(①福岡和白丘)

男子個人形

2位 山田 凱斗(②東原彦倉東部)

女子個人形

優勝 宮崎 祥歩(③鳥栖)
3位 中西陽菜多(①浅口鴨方)
3位 吉村 心愛(①佐世保早岐)

【陸上部】

令和7年度第63回佐賀県高等学校総合体育大会(5月30日~6月2日・SAGAスタジアム)

男子100m

2位 石川 晴飛(②成章) 10.41/+4.1
3位 村上 純大(③城東) 10.56/+4.1
6位 井島 暢宏(②城北) 10.80/+4.1

男子200m

1位 馬渡 雄大(②城南) 21.65/-0.7
3位 吉田龍ノ介(②鳥栖西) 22.16/-0.7

男子400m

2位 延 蓮太郎(②鳥栖) 50.62
4位 内田琥太郎(③城東) 51.87

男子110mH

3位 松尾 和気(②福富) 15.87/+1.5
8位 鳥居 暖斗(①千代田) 17.88/+1.5

男子400mH

2位 松江 春親(③城東) 56.1

男子棒高跳

1位 松尾 和気(②福富) 3m60

男子走高跳

2位 山口 宗真(①白石) 1m80
5位 唐松 蓮斗(②成章) 1m75
6位 神崎 悠生(①江北) 1m75

男子走幅跳

2位 小林 翔(③金泉) 6m84/+5.0
5位 山田 喜湧(①千代田) 6m64/+5.4

男子三段跳

6位 山田 喜湧(①千代田) 12m53/+1.0

男子砲丸投

4位 坂上 拓望(②川副) 10m58

男子やり投

8位 田中 良樹(③佐大附属) 43m58

八種競技

3位 水田 貴哉(②香楠) 4199点
4位 川原 陸(②三田川) 3920点

男子4×100mR 第1位

40.64(大会新記録、県高校新記録)
村上 純大(③城東) 石川 晴飛(②成章)
延 蓮太郎(②鳥栖) 吉田龍ノ介(②鳥栖西)

女子400m

8位 今泉 彩那(③金泉) 1:03.75

女子100mH

4位 海老原もえ(③香楠) 15.34/-0.6

女子400mH

4位 今泉 彩那(③金泉) 1:06.69

女子走高跳

1位 徳久 莉央(①有田) 1m56
3位 松浦 心花(③鹿島西部) 1m50
6位 池上 凛菜(①白石) 1m45

女子走幅跳

4位 海老原もえ(③香楠) 5m14/+0.7

女子三段跳

6位 池田 心音(③唐津第一) 10m33/+3.6

女子やり投

7位 池上 凛菜(①白石) 28m63

七種競技

1位 海老原もえ(③香楠) 3999点

【自転車競技部】

令和7年度佐賀県高等学校総合体育大会自転車競技(5月25日・武雄競輪場)

男子団体 優勝(47大会連続50回目)

令和7年度全九州高等学校体育大会自転車競技(6月6日~9日・武雄競輪場/HSR九州サーキット)

チーム・スプリント 8位(1分22秒746)
後藤 結希(③城東) 松浦 慶生(②山口光)

山下 隼(②神埼)

3kmインディヴィデュアルパーシュート

8位 山下 隼(3分47秒564)

【水泳部】

令和7年度佐賀県高等学校総合体育大会水泳競技大会(5月31日~6月1日・SAGAアクア)

50mバタフライ

8位 黒木 彩那(②) 32秒54

100mバタフライ(九州大会出場)

3位 黒木 彩那(②) 1分10秒66

200mバタフライ(九州大会出場)

3位 黒木 彩那(②) 2分48秒84

50m平泳ぎ

3位 中村 奏太(②) 30秒95

100m平泳ぎ(九州大会出場)

5位 中村 奏太(②) 1分08秒58

200m平泳ぎ(九州大会出場)

7位 中村 奏太(②) 2分37秒77

【テニス部】

令和7年度第63回佐賀県高等学校総合体育大会(5月31日~6月2日・SAGAサンライズパーク庭球場)

男子団体 1回戦 龍谷 0-3 鹿島高校

【男子バスケットボール】

令和7年度第63回佐賀県高等学校総合体育大会(5月30日・龍谷高校体育館)

ベスト8

2回戦 龍谷 105-64 伊万里実業高校
3回戦 龍谷 67-51 小城高校
準々決勝 龍谷 34-96 唐津工業高校

【女子バスケットボール】

令和7年度第63回佐賀県高等学校総合体育大会(5月30日・龍谷高校体育館)

1回戦 龍谷 50-61 鳥栖高校

【サッカー】

令和7年度第63回佐賀県高等学校総合体育大会(5月29日~6月5日・龍谷高校人工芝サッカーグラウンド/佐賀県健康センター天然芝グラウンドサンライズ)

準優勝

1回戦 龍谷 2-1 武雄高校
2回戦 龍谷 5-0 唐津商業
準々決勝 龍谷 1-0 佐賀学園
準決勝 龍谷 3-0 佐賀北高校
決勝 龍谷 1-1 佐賀東高校
(PK: 2-3) (九州大会出場)

【弓道部】

令和7年度佐賀県高等学校弓道春季大会『高取杯』(4月26日、27日・多久市緑が丘弓道場)

個人 優勝 森 遥菜(③鹿島西部)

令和7年度佐賀県高等学校総合体育大会弓道競技(5月30日~6月1日・多久市緑が丘弓道場)

男子団体 6位

【男子バレー】

令和7年度第63回佐賀県高等学校総合体育大会(5月30日~6月2日・SAGAアリーナ)

1回戦 龍谷 1-2 鳥栖高校

【女子バレー】

令和7年度第63回佐賀県高等学校総合体育大会(5月30日・サロンパスアリーナ)

1回戦 龍谷 0-2 嬉野高校

【野球部】

第156回九州地区高等学校野球佐賀大会(3月20日~4月4日・さがみどりの森球場/ブルースタジアム/鳥栖市民球場/唐津ハンバーガースタジアム)

優勝 2季連続 12回目

2回戦 龍谷 5-2 鹿島高校
3回戦 龍谷 6-2 高志館高校
準々決勝 龍谷 4-0 唐津南高校
準決勝 龍谷 6-3 有田工業高校
決勝 龍谷 2-1 唐津商業高校

第156回九州地区高等学校野球大会(4月19日・たちばなしんきんFOD)

1回戦 龍谷 0-7 海星(長崎)

第72回NHK杯佐賀県高等学校野球大会(5月30日~6月4日・さがみどりの森球場)

ベスト8 1回戦 龍谷 5-2 敬徳高校
準々決勝 龍谷 2-6 鳥栖高校

【書道部】

第77回佐賀県高等学校席書大会(5月31日)

秀作

梶原 葵衣(③小城)
中島 百音(③東与賀)
中津海珊瑚(③腹栄)
入選 永田明日香(③成章)
古賀 凛(②龍谷)

【高校美術】

第78回佐賀県高等学校スケッチ大会(5月24日・厳木高等学校)

奨励賞 西村 知世(RG⑥龍谷理数グローバル)

【放送部】

第72回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀県大会

朗読部門

奨励賞 中野 心晴(②龍谷)



龍谷SDGsなう

『龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章』
4つの柱に基づき、SDGs推進教育を行っています。

学校法人佐賀龍谷学園龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章



- ①持続可能な社会を創造できる人を育成する教育を提供します
- ②持続可能な社会を創造できる人を育成する教育の場を創造します
- ③持続可能な社会を創造する地域の実現に貢献できる地域の基盤となります
- ④理想的な生徒の育成を実現するために教職員のディーセントワークを実践します

●Think Globally, Act Locally. Think Globally, Act Globally .

6月11日

万博国際交流プログラム・佐賀市トンガ王国交流に伴い、8月6日にトンガの高校生と龍谷中高生が学校交流を行う。高校生有志・中学生徒会が中心となって企画を計画中。今回は中学生を対象に、トンガをより身近に感じてもらうため、トンガ滞在経験のある元JICA海外協力隊である深川千幹氏に、『トンガ文化について』『協力隊経験を通して見た世界・佐賀とのつながりについて』のご講話をいただいた。8月のトンガ交流につながる有意義な時間でした。また、ODAとNGOは「ODANGO」でくっついている必要があるのだという開発協力についての学習も出来ました。今後の進路選択にも繋げてほしい。

【生徒感想】○深川先生のように縁を大切にしたい。○授業でトンガ王国を学んでいたが、もっと身近な存在になった。○トンガ語がとても親しみやすく、交流の時に話したいと思った。○佐賀県と災害が多いという共通点があり、共に助け合っていきたいと思った。○深川先生のお話でトンガ文化が好きになった。○トンガで知り合った深川先生の元生徒が駐日大使、官僚になって、今回の交流で関わっていることに驚いた。



●多文化共生セミナーに参加、明日に向かって"平和の伝道師"へ！

6月14日

世界情勢が不安定な昨今、「本当の平和」について生徒たち自ら考える機会が増えている。今回は、『紛争地の事実と希望』～元子ども兵社会復帰支援の最前線から～講演会（主催：佐賀県国際交流協会 共催：JICA九州）に参加しました。内戦で過酷な経験をし、7歳から難民として各地を転々とした経験を持つトシャ・マギーさん。「日本の学生ができることは」との質問に「正しい情報を得て、多くの人に声を出して伝えてほしい。それが社会貢献になる。」「事実を知る。心で感じる。感動することが唯一、人に行動を起こさせる。」と回答。これからの生き方を考えさせられる時間だった。

【生徒感想】○貧困、紛争、社会復帰など現在の社会問題について最前線で活動をなさっている方の話を聞いて、これから自分にできることは、社会問題にどのように関わっていくか、どうしたら改善されるのかを考えていくことだと思った。○紛争地には幼くして命を落とす子どもたち、家族を失った子どもたち、教育の機会を奪われた子どもたち、さらには誘拐や脅迫によって強制的に兵士として戦闘に参加させられる子どもたちがたくさんいる。その現実を知り、私は大きな衝撃を受けた。その一方で日本のような先進国で暮らす私たちは毎日の食事に困ることもなく、命の危機にさらされることもなく当たり前のように平和な日常を過ごしている。どれだけ幸せで、恵まれたことなのかを改めて痛感した。○私は、今年7月中旬から人種隔離政策（アパルトヘイト）が行われていた歴史を持つ南アフリカのケープタウンへ留学する。多様な人種が共存する国で異文化に触れ、様々な人との交流を通して理解を深めていきたい。また人種差別に対する考え方や意識についても調査していきたい。○私は小学生の時に東京・品川にあるユニセフハウスに行ったことがあった。私はそこで初めて子供兵士の存在を知った。しかし、その時は本当の意味での恐ろしさ、残忍な現実を理解できなかった。今回参加して、人間がしているとは思えない行為とそんな環境に晒されている人々、その人々を支援する団体の存在を改めて学んだ。また、先進国にはなかなか知られていない、届かない事実を知り、改めて考えさせられた。



初心を忘れず、「自立した学習者」を目指す

龍谷 中学校

中高一貫 理数グローバル

生き生きとした笑顔、和気あいあいの先輩後輩

「防災教育・新入生歓迎バスハイク」

4月25日（金）、全校生徒は新入生歓迎バスハイクに出かけました。

午前中は、福岡市民防災センターを訪れ、防災に対する知識を身に付け、日頃から意識を高めておくことを学びました。近年、いろいろな所で災害が多発していることもあり、生徒のみなさんは真剣な表情で説明に聴き入っていました。

午後は、福岡市動植物園を訪れ、班別に昼食をとりました。3年生を班長とする3学年混成の縦割り班で活動しました。先輩後輩の仲が縮まるよう生徒会が中心となりレクリエーションを企画し、園内の至る所で笑い声や語り合う姿が見られました。

あつという間に楽しい時間は過ぎてしまい、生徒たちはまだまだ遊び足りない様子でしたが、仲がぐつと縮まり、充実した一日となりました。

（文責 森永）



よりよい学校生活を目指して！

生徒会 ～ 妥協しない議論 ～

梅崎陽愛（ひなみ）生徒会長（③思斉館）を中心とした生徒会執行委員は、生徒が如何にしてよりよい学校生活を送ることができけるかを模索している。

ある日の放課後の執行委員会では、厚生部から問題提起された「掃除の役割」について白熱した議論が交わされていた。掃除のやり方、場所の確認、係の割り振りなど、思いつくことを意見として出し合い、一つひとつ検討している。自分たちでよりよい学校を作り上げたいという執行委員一人ひとりの思いが伝わってくる。

梅崎会長は、「執行委員が生徒会活動に対して、いい姿勢で取り組んでくれています。他人任せではなく、お互いが補い合いながら生徒全体のためになるようなアイデアを出し、実践に努めたいです。」と、しっかりと答えていた。

（文責 松尾）



理数グローバル

学び育つ6年間の龍谷ストーリー 龍谷中高一貫

2026(令和8)年度 入学試験日程

入試・試験(種別)	試験日	試験会場
12月入試		
自己表現試験	12/6日	佐賀会場(龍谷中学校)
教科試験(科目/実)	12/13日	佐賀会場(龍谷中学校)
プログラミング試験		
前期入試		
適性検査試験	1/4日	佐賀会場(龍谷中学校)
教科試験(科目/国算)		鳥栖会場(ホテルビザントス)
後期入試		
教科試験(科目/国算)	1/31日	佐賀会場(龍谷中学校)

2025(令和7)年度 各種説明会・イベント日程

日程	行事名	内容
6/21日	第1回 学校見学会&説明会	生徒プレゼン/学校紹介・見学/体験活動
7/5日	第1回 授業見学会&質問会	学校紹介/授業見学/質問
7/19日	第2回 学校見学会&説明会	生徒企画/学校紹介・見学/体験活動
9/20日	第1回 入試説明会&入試対策講座	入試概要説明/12月入試解説・模擬体験
10/4日	第2回 入試説明会&入試対策講座	入試概要説明/授業見学/教科書範囲演習/面接講座
10/25日	第3回 入試説明会&入試対策講座	入試ポイント/適性検査攻略講座/面接講座
11/8日	第4回 入試説明会&入試対策講座	適性検査模擬問題演習/模擬面接体験
11/10日		予約制(10:00~17:00)
11/11日	個別入試相談会	相談時間は要申込 学校のところ、中学受験、出願方法など、 気になることをお尋ねください。
11/12日		
11/13日	第1回 サイト説明会	学校紹介/入試概要説明/個別相談
12/15日	第2回 サイト説明会	学校紹介/入試概要説明/個別相談
1/19日	第3回 サイト説明会	後期入試に関する説明/個別相談

参加無料

詳細・お申し込みはこちらから
★詳しくは、こちらをご覧ください★



心ひかれる世界を描く、「校内スケッチ会」

5月30日（金）、中学校校内スケッチ会を行いました。

◆ 中学1年生の題材は、「私の心ひかれる風景、私が描く私の母校」です。

これから6年間親しむ学び舎を散策し、自分が心ひかれる風景を自分の足で見つけ、現場でスケッチに取り組みました。五感を通じて感じとった情報（揺らぐ光と色彩、風が運ぶ草や土の匂い、木や壁の肌触り、空気の湿度、雰囲気など）を込め、その風景の魅力を描ききることを目標とします。母校への愛着を育みながら、表現を楽しんで欲しいと思います。

◆ 中学2年生は、「私の心象風景、人が生きている世界」

人が生活している空間をテーマとし、人物を描き込んだ風景画を描きます。家族や友人をあたためたい目で見つめ、暮らしの息づかいをとらえようとしたものや、風景の中に自分を描き、個人的な経験や過去の思い出が色濃く反映されたものなど、さまざまな物語が込められています。思いおもいに構想を練り、命を愛おしむように絵を育てていきます。

◆ 中学3年生は、「私の空想画、私の心の中の不思議な世界」

自分自身の心の中の世界を表す空想画を描きます。現実世界と非現実世界、実在するものと空想上のもの、これらを融合させた画面構成や色彩表現を試み、自己の内面世界を写実に偏らず自由に表し、感情や個性を感じさせる表現を目指します。

キャンパス内の気に入った場所です。いつもとは違う開放的な時間を楽しみながら、絵筆を走らせる一年生。それぞれの思い、迷いやこだわり、希望や心の有り様を絵画という手段で表現しようと格闘していた二年生・三年生。生徒たちの真剣な眼差しと、表現することを楽しむ姿がとても印象的な一日でした。

（文責 田久保）



受賞、おめでとう！

● 剣道部

◆ 第39回佐賀県中学生春季剣道大会（4月27日）

女子団体 **優勝**

実松 聖 恋（③千代田西部）
西村 初 愛（③千代田東部）
土井 京 佳（②西国分）
山口 凜 々（②江北）
水町 藍 泉（①師勝西）

◆ 令和7年度山口維新杯剣道錬成会（5月5日）

女子団体 2位

実松 聖 恋（③千代田西部）
島 睦 佳（③思斉館）
西村 初 愛（③千代田東部）
土井 京 佳（②西国分）
山口 凜 々（②江北）
水町 藍 泉（①師勝西）

● 陸上部

◆ 第54回佐賀県中学陸上競技選手権大会

（5月17日）

女子四種競技
1位 梅崎 陽 愛（③思斉館）

● 書道部

◆ 第16回佐賀県中高一貫席書大会（5月31日）

特選 津田 咲 彩（①高木瀬）
奨励賞 香月 乃 綾（③三日月）

建学の精神ポスター表彰式

九州龍谷短期大学

鳥栖市

Tel 0942・85・1112

学園だより



九州龍谷短期大学では、「建学の精神（知恩、自律、内省、平和）」を改めて学生に周知するための活動として、建学の精神ポスターを募集いたしました。

26人から応募があり、最優秀賞1人、優秀賞2人、特別賞1人を決定しました。

表彰された4人以外の学生の作品も、「建学の精神」をわかりやすく伝えるために、一生懸命考えて制作したことがわかる素晴らしい作品ばかりでした。

写真のポスターは最優秀賞を獲得した保育学科2年佐々木ほのかさんの作品で、下段の写真は表彰式の様子です。



佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。

詳しくは、各学校事務室までお問い合わせください。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園



風船マットで遊んだよ！



シール貼り楽しいね。



七夕飾りを作りました！



夏野菜を育てています！



暑い夏に欠かせない“うちわの”製作中！もう少しで出来上がるかな。

